



一般社団法人 緑の循環認証会議

SGEC/PEFC ジャパン



2021年11月吉日

関係者各位

森林認証 PEFC 主催ウェビナーのご案内

「持続可能なゴム：PEFC は新しい供給先と増加する需要をどのように結びつけるか」

森林認証PEFC主催で第3回となりますこのウェビナーでは、PEFCが業界の専門家や先発企業をパネリストとして引き、認証取得の成功例や教訓について議論します。この機会に多くの情報を得て、将来の供給者と持続的なパートナーシップを築き、製品や材料の持続可能性を有意義に高めていただけます。

日 時 : 2021年11月24日水曜日 日本時間 17:00~18:00

参加形式 : Zoom ウェビナー **日英同時通訳あり**

参加費 : 無料 (どなたでも参加可能です)

申込 QR コード→



申込方法 : Zoom ウェビナー登録はこちらから <https://tree.es/rubberconnects-webinar>

スピーカー :

- ・ハンス エバース氏 (Mr.Hans Evers) : ウェーバー&シェアー社 サステナビリティ マネージャー
- ・イェンス ヴァン ロンペイ氏 (Mr.Jens Van Rompaey) : ユニリン社 木材部ジェネラルマネージ
- ・リチャード・ライアティ氏 (Mr. Richard Laity) : PEFC 東南アジアマネージャー

対象者 : ゴムやゴムの木を扱う生産者、取引業者、製造業者、小売業者

優れた機能性と耐久性が評価されている天然ゴムの世界需要は、7%増加すると予想されており、それに伴い、バイヤーやメーカーの間では、認証された持続可能な天然ゴムへの関心も高まっています。現在、それに応えるべく新たな供給体制が整えられています。2021年は世界のゴムのバリューチェーンにとって、ゲームを変えるような画期的な出来事があった年でした。中国のタイヤ製造業の急速な回復から、パンデミック時の医療用品の必要性まで、天然ゴムの需要は急増し、価格も上昇しました。

持続可能性への取り組みは着実かつ重要な進歩を遂げていますが、世界の認証ゴムの供給量は、この需要を満たすのに十分ではありません。実際、天然ゴムの供給は停滞しており、2020年に行われた再植林は過去30年間で最少でした。小規模農家の資本不足と、パンデミックによる国境を越えた移動の制限による結果、需要と供給のバランスが大きく崩れました。

そこでバイヤー皆様からの質問があります「では、どこで手に入るのか？」

2021年末までに、ベトナムの10万ヘクタール以上のゴム農園が森林管理認証を取得する予定です。これを受けて、アポロ、ブリヂストン、グッドイヤー、ミシュラン、ピレリ、横浜ゴムなどの大手タイヤメーカー12社が、持続可能な天然ゴム政策への取り組みを発表しています。

皆様のウェビナー参加をお待ちしております。

お問合せ :

PEFC 東南アジアマネージャー

リチャード ライアティ richard.laity@pefc.org

